

10	款	教育費	5	項	社会教育費	1	目	社会教育総務費												
事業		事務事業名	婦人会活動補助金										担当	部名	教育委員会					
649		予算事業名	(社会教育管理費)										課名	生涯学習・スポーツ課						
													電話	51-6637						
基本事項	事業期間	開始年度	平成 17 年度		終了年度											実施方法 (H27)				
	総合計画	施策の大綱	第 1 部	豊かな心を育み誰もが輝くまち																
		政策(章)	第 2 章	みんなが学び豊かな心を育むまちづくり																
		施策(節)	第 1 節	生涯学習活動の推進																
		根拠法令等	射水市補助金等交付規則																	
事業目的	対象	補助金等交付先	射水市婦人会																	
	意図	補助金等交付目的	射水市婦人会が実施する女性の社会参加を促進する活動や女性ならではの視点にたった活動を支援することにより、本市の社会教育の発展を図る。																	
成果指標	事業目的を達成する指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名													
		回	5	6	10	10	市民向け事業の実施													
		人	2,237	1,417	1,292	1,339	会員数													
事業内容	手段	補助金等の受ける実施する主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内単位婦人会の交流・意見交換、研修への参加</li> <li>各単位婦人会事業への助成及び指導</li> <li>環境保全を目的とした講習会の実施</li> <li>家庭教育支援を目的とした事業の実施</li> <li>会報誌の発行</li> </ul>																	
		活動指標	補助金等交付件数	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	指標名											
		件	1	1	1	1	補助金交付件数													
備考	その他説明を要する事項		加入する単位婦人会は減少傾向にあり、組織の立て直しが必要である。																	
事業コスト	項目(単位:千円)		H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事業コストに関する特記事項													
	直接事業費(補助金等交付額)		900	900	855	855	平成27年度から5%カットを実施した。													
	(当初予算額)		(900)	(900)	(855)															
	うち臨時職員人件費																			
	財源内訳	国・県支出金																		
地方債																				
その他一般財源		900	900	855	855															
個別評価	評価項目		説明																	
	妥当性 (a~c)	a	独立した女性組織として、環境保全や家庭教育に全市的に取り組んでいる。女性ならではの視点やネットワークを活かした活動が成果を上げている。																	
	有効性 (a~c)	a	市婦人会独自の活動はもとより、各婦人会単位で実施する活動や地区の特徴等について、情報交換の場ともなることから、本市の社会教育の振興にとって有効である。																	
	効率性 (a~c)	a	市補助金だけでなく会費徴収を行い、効率的な団体の運営に努めている。																	
総合評価 (1次評価)	評価結果 (A~C)	A	現行どおり事業を進めることが適当										総合評価 (2次評価)	評価結果 (A~C)	B	事業の一部に見直しが必要				
	今後の方向性	改善内容・現行どおりとする理由等										評価委員会のコメント								
	廃止・休止											組織力の低下が著しいことから、地域振興会の女性部等との連携について側面支援を行うこと。また、事業費に対する補助金の割合が高いことから、会費負担の見直しを促すこと。								
	規模縮小																			
	統合・連携																			
	民間活用																			
	負担適正化																			
	やり方改善																			
現行どおり																				
拡充																				

10 款	教育費	5 項	社会教育費	1 目	社会教育総務費				
事業	事業名	婦人会活動補助金				担当部	教育委員会		
	649 予算事業名	( 社会教育管理費 )				課名	生涯学習・スポーツ課		
						電話	5 1 - 6 6 3 7		
評価項目	評価の視点	内容 ( 該当は、非該当は× ) 内部管理事務の場合、妥当性の判定は行わない ( 妥当性を a とする )						判定	
妥当性	実施意義・市民ニーズ	社会経済情勢の変化や当初目的の達成状況、市民ニーズなどを勘案しても、事業の実施意義は低下していない。							
	民間競合	民間と競合していない、あるいは事業の実施により民間事業者を圧迫していない。							
有効性	受益者・費用負担	事業内容 ( 手段 ) の受益者は、公益性が認められる場合を除き、一部に偏っていない。また、受益者負担あるいは市の負担は適正であり、公平性・公正性が保たれている。							
	政策体系との整合性	事業の成果 ( 意図 ) が、上位施策の目標達成に結びついている ( 貢献している ) 。							
	統廃合・連携余地	目的及び対象が類似・重複する事業はなく、他に目的を達成する手段はない、あるいは他に手段があっても、統廃合や連携の余地がない。							
	成果の向上余地	事業内容 ( 手段 ) を工夫しても、成果を向上させる余地はない。							
効率性	事業継続による影響	事業を継続することで、更なる成果が期待できる。							
	従事人員削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の業務プロセスの最適化等により正規職員に従事人員や業務従事時間を削減する余地はない。							
	直接事業費削減余地	現在の成果を維持しつつ、事業内容 ( 手段 ) の事務改善や契約方法の変更等により直接事業費を削減する余地はない。							
	実施主体見直し余地	民間活用・外部委託の拡大や市民協働事業化等による実施主体の見直しについての検討の余地はない。							
評価結果	個別評価 ( a ~ c )	妥当性	a 適合	有効性	a 適合	効率性	a 適合	総合評価 ( A ~ C )	A
		評価結果							現行どおり事業を進めることが適当

性質	交付先区分	個人	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備補助		
	補助区分	団体		政策的補助	格差是正補助	利子補給等		
定額		算定方法	ボランティア活動であることから補助金収入に頼らざるを得ないことから、予算の範囲内で交付している。					
定率								
	その他							
交付状況	項目	H25実績	H26実績	H27実績	H28見込	特定財源		
	補助金等交付件数	1 件	1 件	1 件	1 件	なし ( 市単独補助 )		
	補助金等交付額	900 千円	900 千円	855 千円	855 千円	国補助 ( % )		
	うち一般財源	900 千円	900 千円	855 千円	855 千円	県補助 ( % )		
交付団体状況	項目	H25決算	H26決算	H27決算	H28予算	事務局体制		
	交付先歳入決算額	1,870 千円	1,840 千円	1,665 千円		非該当・事務局なし		
	補助金の占める割合	48.1 %	48.9 %	51.4 %		担当課が主体		
	交付先歳出決算額	1,620 千円	1,599 千円	1,543 千円		交付団体が主体		
	次年度繰越額	250 千円	241 千円	122 千円		その他		
	歳出に占める割合	15.4 %	15.1 %	7.9 %		↳ ( )		
事業目的	対象	射水市婦人会					法人会員数	1 団体
	意図	射水市婦人会が実施する女性の社会参加を促進する活動や女性ならではの視点にたった活動を支援することにより、本市の社会教育の発展を図る。					個人会員数	1,400 人
事業内容	手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内単位婦人会の交流・意見交換、研修への参加</li> <li>各単位婦人会事業への助成及び指導</li> <li>環境保全を目的とした講習会の実施</li> <li>家庭教育支援を目的とした事業の実施</li> <li>会報誌の発行</li> </ul>						
	補助金等を受け実施する主な活動							